

レフリータイムアウト(実機競技のみ)

ヘッドレフリーは、ゴール後のキックオフ前、ハーフタイム開始前、ドロップボールのコール後、およびPK戦の前にタイムアウトを取ることができる。また、PK戦の前でも必要と判断した場合は、タイムアウトを取ることができる。レフリーのタイムアウトは、次のような悲惨な状況においてのみ請求されるべきである。例えば、無線LANルーターの電源が落ちたときなどです。しかし、いつ、どのような場合にレフリータイムアウトを取るかどうかは、ヘッドレフリーに任される。レフリーは、必要であれば、試合中に複数のタイムアウトを取ることができます。タイムアウト中、チームは何をしてもよいが、以下の点に注意すること。レフリーがタイムアウトを開始してから2分後にプレーできる状態でなければならない。レフリーは、タイムアウトが要求された状況が解決されたと確信した時点で、タイムアウトを終了すべきである。状況が解決した場合10分以内にタイムアウトが要求された状況が解決されない場合、プレーを継続すべきかどうか、技術委員会に相談されるべきである。タイムアウトが要求されなかった場合、キックをしたであろうチームが、試合再開時にキックをする。